

たくましく ゆたかに ひびけ われら若楠



若楠っ子

佐賀市立若楠小学校便り

第14号 令和5年10月18日
文責：守田美由紀

若楠小 HP

<https://www.education.saga.jp/hp/wakakusu-e/>

体育大会の成功に向けて、みんなで頑張っています!!

10月5日から体育大会の練習が本格的に始まり、子どもたちの声や姿に、やる気や盛り上がりが日に日に高まっていることを感じています。これまで「自分で考えて行動する」を意識させながら指導し、子どもたちはお互いに声を掛け合って頑張ることができています。

22日(日)の体育大会当日には、保護者や地域の皆様にも子どもたちの熱い思いを感じていただけることと思います。ぜひ、応援にお出かけください!

子どもたちは、毎日の練習等で運動量が増え、やる気いっぱいでも疲れて帰宅していると思います。このところの朝夕の気温差が大きく、体調管理にも気を付けなければいけない時期です。さらに今週末は気温が低くなるとの予報が出ています。健康面での配慮をよろしくお願いいたします。また、それ以外にもご家庭で気になることがあれば早めにお知らせください。子どもたちが笑顔で元気に、自信をもって活動できるよう、家庭と学校が手を携えて進んでいきましょう。ご支援・ご協力をお願いいたします。



お知らせ 第54回「博報賞」功労賞受賞!!

若楠校区 地域子ども教室「わかくす全員集合!!」

～再会のその日まで、コロナ禍も児童との交流が続いた子ども教室20年の挑戦～

10月11日、公益財団法人博報堂教育財団から第54回「博報賞」の受賞者が発表されました。博報賞12件、功労賞6件、奨励賞9件が選出されており、若楠校区地域子ども教室「わかくす全員集合!!」が功労賞を受賞しました。審査講評をいただいておりますので紹介します。

「学校と家庭以外に子どもたちに第三の居場所を設け、さまざまな体験活動を提供し、大変充実した取組である。メニュー数、その内容も年を追うごとに工夫され深化したものになっている。学校教育と社会教育が共に場を提供することで、大学生も含め、年齢層が多様な人々がみんなで子どもの健全育成に関わろうという姿勢がみられる。平成16年以来の息の長い取組が、コロナ禍を経ても途絶えず、功労賞に値する活動である。」

永淵会長、西原事務局長をはじめ、これまでの20年間に携わっていただいた地域の皆様、保護者の皆様のおかげです。たくさんの方の温かいまなざしとご支援をいただき、現在も若楠の子どもたちが明るくのびのびと、人との関わりと楽しみながら活動しています。地域の関係者の皆様のご尽力と取組のすばらしさにより、若楠っ子の明るさや素直さが育まれていることを改めて感じる事ができた受賞でした。本当にありがとうございます。

受賞おめでとうございます!!

わかぐす全員集合！！

「西九州大学子どもフェスタ」 10月14日

14日は、学校から西九州大学に出かけ、子ども学部子ども学科1年生の学生の皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしました。子どもたちは、担当の学生と一緒に活動し、優しく声をかけてもらいながら、いつも以上に活発に行動していました。5つの体験コーナーでは、手作りのイラストや飾りなど様々な工夫をされており、見るだけでも楽しい気持ちになりました。

私は、素晴らしい環境で子どもたちと学生の皆さんの賑やかな声を聴きながら、「若楠っていいね。若楠の子どもたちもいいね！」と、地域の方と一緒に見守りました。素敵な時間と体験を子どもたちにプレゼントしてくださった西九州大学の先生方と学生の皆さん、ありがとうございました！



城北ブロック三校合同文化会

活水中学校・高等学校吹奏楽部演奏会 10月15日

10月15日(日) 14時から、城北中・高木瀬小・若楠小の3校PTA共催による演奏会が行われました。吹奏楽部員による進行で、クイズありダンスパフォーマンスあり、城北中吹奏楽部との合同演奏など、充実した演奏会でした。たくさんの方と一緒に美しい音色とすばらしい演奏を楽しむことができました。お世話いただいた城北中PTAの皆様、ありがとうございました。



城北校区3校合同研究会・校内職員研修会のため **下校時刻を変更します**

**お
知
ら
せ**

☆ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします

○3校合同研究会 11月29日(水) **14:00 下校**

佐賀大学教授の達富洋二先生を講師にお迎えし、主体的な学びの実現に向けた授業改善や城北校区での9年間の学びについて研修を行います。

○校内職員研修会 12月 4日(月) **14:35 下校**

9月においでいただいた横浜国立大学名誉教授の高木展郎先生を再びお迎えし、学校全体で取り組んでいる「聴いて 考えて つなげる」授業実践について、相互授業参観を行いながら研修します。